

記者発表資料  
令和2年7月16日  
疾病・感染症対策室感染症対策班  
担当：小山・浅川  
電話：022-211-2632

## 村井知事から県民の皆様への緊急の呼びかけ

本日、本県におきまして、これまでの最多となる14名の新規患者数が確認されました。

6月以降の患者について、その約7割は10代から30代までの若い世代が占めており、また、酒席を伴う飲食店等を感染経路とした感染例が多い状況です。

特に若い世代には行動力があり、様々な人と接触する機会が多いことから、知らぬ間に感染し家族や知人などにつつしてしまい、その方々が重症化する可能性があります。

県は、仙台市と連携し、必要と判断された全ての方が速やかに検査を受けていただけるよう対応しております。また、医療機関の御協力の下、必要な方には入院していただけるよう医療提供体制を整えております。

しかしながら、これ以上感染拡大が続きますと、医療提供体制や社会経済活動に大きな打撃を受ける恐れがあります。

このため、私から緊急に、県民の皆様へ、次のことをぜひともお願い申し上げます。

### ～ 県民の皆様へのお願い ～

- 1 酒席を伴う飲食店を利用する場合には、3密の防止のほか、大皿料理の共有や飲み物の回し飲みを避けるなどの「新しい生活様式」を強く意識して行動してください。
- 2 事業者の皆様におかれましては、業種別ガイドラインの内容を確実に実践していただき、利用客や従業員に対する感染防止の周知を徹底してください。
- 3 若い世代の方が通う学校の設置者におかれましては、手洗いやマスクの着用、換気の徹底などの「新しい生活様式」をはじめとする各種ガイドラインの内容を徹底していただき、学生等に対する感染拡大防止の一層の注意喚起や、患者が発生した場合の速やかな感染拡大防止措置と保健所による調査に御協力願います。
- 4 東京などの県外に移動する際には、移動先の感染状況に注意し、どのような場所で患者が発生しているか、クラスターの発生の有無などについて情報収集し、慎重に行動していただきますようお願い申し上げます。
- 5 県民の皆様におかれましては、手洗い、マスクの着用、身体的距離の確保、3密の回避をはじめとした「新しい生活様式」や接触確認アプリの登録など、一層の感染対策に御協力ください。